

入札参加者各位

福岡県企業局

施工体制台帳作成義務付け対象工事の拡大について

このたび、一部の工事に限られていた「施工体制台帳」の作成義務が拡大されることとなりました。

つきましては、以下のとおり取り扱うこととしましたのでお知らせします。

1. 対象工事

従来、「施工体制台帳（以下「台帳」という。）」は下請契約の総額が3千万円以上（建築一式工事は4千5百万円以上）となる工事で作成が義務付けられていましたが、平成27年4月1日以降に公共工事の発注者と契約を行う工事では、下請契約を行うすべての建設工事で台帳の作成が必要となります。

2. 台帳の作成時期

請負者は、当該工事について下請契約を締結した場合、「遅滞なく」台帳を作成する義務が生じます。また、台帳作成後に記載事項に追加、変更があった場合も同様に、遅滞なく台帳の修正が必要です。

3. 作成した台帳の取り扱い

作成した台帳は、建設現場に備え置きするとともに、公共工事の場合は発注者に提出してください。

また、台帳内の「施工体系図」については、当該工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲示してください。

4. 台帳様式について

本県が定める台帳様式で作成願います。